

2016年 6月改訂
貯法 冷暗所、開封後都度密栓

動物用医薬品
混合ビタミン製剤

承認指令書番号	28動薬第553号
販売開始	2003年 12月

アデ[®]ーB

20 L

【成分及び分量】 本品 1 L 中に下記の成分を含有します。

レチノールパルミチン酸エステル (ビタミンA)	10,000,000 IU
コレカルシフェロール (ビタミンD ₃)	2,000,000 IU
トコフェロール酢酸エステル (ビタミンE)	15,000 mg
リボフラビンリン酸エステルナトリウム (ビタミンB ₂)	4,800 mg
ピリドキシン塩酸塩 (ビタミンB ₆)	1,700 mg
シアノコバラミン (ビタミンB ₁₂)	14 mg
ニコチン酸アミド	10,000 mg
d-ビオチン	30 mg

【効能又は効果】

- (1) 脂溶性及び水溶性ビタミンの補給
- (2) 脂溶性及び水溶性ビタミンの欠乏による疾病の予防と治療

【用法及び用量】

- (1) 体重 1 kg あたりの 1 日量として次の量を直接投与するか、飼料混和又は飲水から与える。
豚：0.006mL～0.4mL
鶏：0.026mL～0.87mL
- (2) 飼料に混和して与える場合は、混和率を0.05～0.5%とする。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1 守らなければならないこと

【一般的注意】

- (1) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

【豚及び鶏に関する注意】

- (1) 本剤の投与前に健康状態について観察し、異常が認められた場合には使用しないこと。

【取扱い及び廃棄のための注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) ビタミンAは、アルカリ性、日光によって急速に分解するため、本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- (3) 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (4) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に準い処分すること。
- (5) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に準い処分すること。

2 使用に際して気を付けること

【豚及び鶏に関する注意】

- (1) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2) ビタミンAは、過量投与による中毒症(皮膚の変色、骨の肥大性増殖等)が報告されている。
- (3) ビタミンDは、過量投与による中毒症(骨の脱カルシウム、軟組織化骨等)が殆ど全ての動物種で報告されている。
- (4) 鶏、七面鳥においてビタミンE大量投与下(30、150mg/kg)でワクチン等による抗体産生能が低下するとの報告がある。

【製品情報お問い合わせ先】

株式会社 科学飼料研究所 動薬部 〒370-1202 群馬県高崎市宮原町3-3 TEL:027-347-3223

【製造販売元】

株式会社 科学飼料研究所 東京都中央区八丁堀三丁目3番5号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記(製品情報お問い合わせ先)に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.naff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。

製造番号 AB

使用の期限

1810